

「在学届」記入上の注意

- 1 奨学生番号は、奨学金の借用が終了しているもののうち採用年度の「新しい番号」を記入すること。

奨学生番号の記入例

(例) 698 カ 65432

奨 学 生 番 号			
	記号		CD
698	カ	65432	X

(例) 604-04-654321

奨 学 生 番 号			
	記号		CD
604	04	654321	X

- 2 借用終了時の学校名は、借用を終了したもののうちで最後に貸与された学校名を記入する。
- 3 姓は左につめてカタカナで記入し、ダク点、半ダク点は、1コマ使用すること。（姓の6コマ以上、及び名は書かなくてよい。）

(例) 円城寺和子

姓 (カタカナ)			
エ	ン	シ	ヨ

(例) 青木昭子

姓 (カタカナ)			
ア	オ	キ	

- 4 卒業予定期は、現在在学中の学校の正規の最短修業期の年を西暦の下2桁（平成の年+88）で記入すること。

なお、休学などで正規の最短修業期を超えたときは、その卒業予定期を記入して提出すること。

- 5 在学年数は、次の (1) ~ (4) のいずれかの年数を記入すること。

(1年未満の端数は切り上げる)

(1) 1年次入学（学士入学を含む）のときは、そのときから正規の最短修業期までの年数。

(2) 休学、その他の事由で卒業が延期となったときは、その延びる年数。

(3) 辞退、廃止などにより在学期間中に借用が終了したときは、そのときから卒業するまでの年数

(4) 留年した者及び大学の通信教育部又は放送大学の全科履修生として在学する者は1を記入し、毎年提出すること。

- 6 専修学校については、学校の電話番号及び修業年限も記入すること。

在学届

データ種別			
1	2	3	4
1	3	1	6

奨学生番号			
	記号		CD
5	8	10	15
—	—		

フリガナ	
氏名	
生年月日	19 年 月 日生
連絡先電話番号	— —

姓(カタカナ)			
17			
—	—	—	—

現在校の入学年月	
西暦年	月
—	—

現在校の卒業予定期		
28	西暦年	月
29	—	3
34		在学年数

↑ ここから記入

↑ 西暦の下2桁を記入

↑ 西暦の下2桁を記入

借用終了時の学校名	
借用終了年月・事由	年 月分まで受領 満期・辞退・退学・廃止

該当する場合のみ○で囲む



留年・休学・通信教育・放送大学

現在校の学籍(学生証)番号	
---------------	--

学校名 大学 学部 大学院 研究科 専修学校名 (TEL) 学校 高等課程 専門課程 高等専門学校・高等学校名	学年 学年 分野 学科 (修業年限 年課程) 学校 学年	学科 $\left[\begin{array}{c} \text{昼} \\ \text{夜} \end{array} \right. \begin{array}{c} \text{間} \\ \text{間} \end{array} \left. \begin{array}{c} \text{部} \\ \text{部} \end{array} \right]$ 専攻 $\left[\begin{array}{c} \text{M} \\ \text{D} \\ \text{D} \\ \text{D} \end{array} \right. \begin{array}{c} \text{C} \\ \text{C} \\ \text{医} \\ \text{歯} \\ \text{一貫} \end{array} \left. \right]$	
上記のとおり在学していることを証明します。 年 月 日			
学校長名 _____ 大学長名 _____	職印	電話番号(担当者名) () — —	
		学校番号	区分

【連絡事項欄】

ご記入いただいた情報は、奨学金事業のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、あなたの情報が、奨学金事業の業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。なお、機関保証に加入している人については、保証管理に必要な情報が(財)日本国際教育支援協会に提供されます。